



# 航空自衛隊 百里基地

航空自衛隊百里基地は、首都圏に所在する唯一の戦闘航空団（戦闘機を運用する編制部隊）を擁する基地であり、約1500名の隊員が、24時間365日不断の警戒態勢にあたるとともに、日夜、練成訓練に励んでいます。また、災害発生時には、人命救助や航空輸送など様々な活動を行います。国民そして地域の皆様の期待と信頼に応えるべく、隊員一人ひとりがその使命を自覚し、誇りをもって任務・隊務にあたっています。

## 百里基地の歴史

- 基地の前身は、1938年に発足した旧海軍百里原航空隊です。敗戦後、海軍跡地は農地として開放。しかし、55年に地元から基地誘致運動が起こり、58年に航空自衛隊百里分屯基地が発足。その後、5期にわたり滑走路工事が行われ、65年には飛行場が完成。F-104の飛行隊が新編され、66年7月に、百里基地として正式に発足しました。
- 1967年、第7航空団が入間基地から移駐し、対領空侵犯措置任務を開始。72年には、空自で初めてF-4を受け入れ、翌年、第301飛行隊（F-4）が新編。74年に、RF-4が導入され、翌年、偵察航空隊が入間基地から移駐。78年には、第305飛行隊（F-4）が新編され、3つのF-4飛行隊が揃う基地となりました。
- 1985年には、第204飛行隊（F-15）が編成され、第301飛行隊（F-4）は新田原基地へ、93年には第305飛行隊がF-15に機種更新し、F-15の2個飛行隊体制に。09年には、第204飛行隊（F-15）が那覇基地へ、第302飛行隊（F-4）が那覇基地から移動し、16年には、第305飛行隊（F-15）が新田原基地へ、第301飛行隊（F-4）が新田原基地から移動し、再びF-4飛行隊が揃う基地になりました。
- 基地所在部隊としては、1987年に第3作業隊が、2003年に移動管制隊が、11年に基地警備教導隊が新編されました。また、2010年には、百里飛行場が共用化され、茨城空港が開港しました。
- 2019年には、第302飛行隊（F-4）が三沢基地へ移動し、F-35Aに機種更新しました。2020年には、偵察航空隊が廃止されるとともに、第3飛行隊（F-2）が三沢基地から百里基地に移動しました。また、その年の12月に第301飛行隊（F-4）が三沢基地へ移動し、F-35Aに機種更新され、現在に至ります。

## 百里基地の位置及び施設

- 茨城県小美玉市に所在する百里基地は、霞ヶ浦の北に位置し、東京からは北東へ約80km、水戸からは南へ約20kmの距離にあります。基地面積は約138万坪あり、2700mの滑走路2本を有する百里飛行場を運用し維持管理しています。また、基地の西側には、茨城空港のターミナルが隣接しており、百里飛行場を共用しています。

## 百里基地に所在する部隊等

- 第7航空団：F-2戦闘機を運用する戦闘航空団。司令部、飛行群、整備補給群及び基地業務群から成る。百里基地で最大の部隊。団司令が基地司令を兼ねる。
- 中部航空施設隊第3作業隊：平素は土木工事や技術指導等を、有事には滑走路被害復旧等を行う。
- 百里救難隊：U-125A及びUH-60Jを運用し、航空救難に当たるほか、災害時には人命救助等も行う。
- 基地警備教導隊：基地警備に係る調査研究や指導を行う。
- 百里管制隊：百里飛行場や進入管制区の航空交通管制業務を行う。茨城空港発着の民航機も管制。
- 移動管制隊：航空基地等に機動展開し、航空保安施設の整備や故障の際の機能代替を行う。
- 百里気象隊：気象観測や予報を行い、関係部隊に気象情報の提供を行う。
- 他、百里地方警務隊や茨城地方協力本部百里分駐所も所在。

# 百里基地の航空機

・百里基地は4種類の航空機を保有し、それらの運用及び維持整備を行っています。



F-2A/B 戦闘機  
乗員：1人/2人  
全幅：11.1m  
全長：15.5m  
全高：5.0m  
最大速度：M2.0



T-4 中等練習機  
乗員：2人  
全幅：9.9m  
全長：13.0m  
全高：4.6m  
最大速度：M0.9



U-125A 救難捜索機  
乗員：4人  
全幅：15.66m  
全長：15.6m  
全高：5.36m  
最大速度：M0.78



UH-60J  
乗員：5人  
全幅：5.43m  
全長：15.65m  
全高：5.13m  
最大速度：約144kt

百里基地キャラクター  
「ひゃくりん」

※Mach (マッハ): M1.0は音速で、時速約1200km

## 百里基地の任務・活動

・基地隊員は様々な任務・業務を行っています。代表的なものを2つご紹介します。

### 我が国の領空を守る【対領空侵犯措置任務】

- ・航空自衛隊は、24時間365日、地上レーダー等により、我が国周辺空域の警戒監視を行っています。
- ・国籍不明機が、我が国の領空を侵犯するおそれがある場合、航空自衛隊の戦闘機が緊急発進して対処する任務を対領空侵犯措置といいます。この緊急発進を“スクランブル”と呼んでいます。
- ・百里基地においても、第7航空団の戦闘機が待機態勢を維持しています。



### 国民の暮らしを守る【災害派遣任務】

- ・自然災害を始めとする災害の発生時には、地方公共団体等と連携・協力して、航空機による被災者の救助や、遭難した船舶・航空機の捜索、人員物資の航空輸送など、様々な活動を行います。
- ・令和元年台風第15号及び第19号に係る災害派遣活動でも、航空機による人命救助や情報収集活動、地上部隊による道路啓開、倒木除去、給水支援等の活動を行いました。
- ・令和2年新型コロナウイルス感染に係る災害派遣では、ダイヤモンドプリンセス号の乗客等の輸送業務及び宿泊支援等を行いました。



災害派遣活動

## 百里基地の隊員【職種紹介】

- ・多種多様な任務を自己完結的に遂行するため、百里基地には様々な職種の隊員がいます。
- ・パイロットや航空機の整備、航空管制や気象はもちろん、車両整備、輸送、施設、消防、給養、補給、会計、警備、警務、衛生、救難、情報、総務、人事、厚生、法務など、あらゆる職種があり、また、女性隊員も活躍しています。



## 百里基地の広報活動

- ・航空自衛隊の活動を国民・地域の皆様に理解して頂くため、百里基地は、航空祭の開催、募集対象者に対する基地見学、体験搭乗、地域の行事等への参加など、様々な広報活動を実施しています。



QRコード

- ・基地HPやSNSも是非ご覧ください。

